

静岡市立高等学校における理数教育推進計画について（概要）

1 設置学科・学科規模

新たに理数科を設置する（理数科の学科名は今後決定する）

項目	現在	設置後
設置学科 及び規模	普通科 8学級（320人/学年） 1年次 共通 2・3年次 文系・理系	普通科 7学級（280人/学年） 1年次 共通 2・3年次 文系・理系
		理数科 1学級（40人/学年）

※「静岡市立高等学校学則」第3条及び別表の改正による

2 開設年度

平成23年4月

3 目標

「自然の事物・現象を科学的・数学的に探究・表現する能力と態度を身に付け、地域社会や国際社会で活躍・貢献できる有為な人材を育成する。」

4 基本方針

- (1) 理数分野への興味・関心を高め、その基礎・基本となる数学・理科に関する知識・理解を深めるとともに、科学技術者として国際社会で活躍できる英語力を身に付け、将来の進路実現の基盤となる確かな学力を身に付ける。
- (2) 様々な活動を通して科学を豊かに体験し、科学的教養を身に付け、科学的な思考力・判断力・表現力・創造力を養うとともに、コミュニケーション能力等を身に付ける。
- (3) 理数分野だけに偏らない広い視野を持った、豊かな感性や想像力を育む。また、社会における科学技術系人材の役割や使命を理解し、積極的に社会に貢献しようとする態度を養う。

5 教育内容

(1) 教育課程

ア 専門教科

専門教科「理数」の科目を25単位以上開設する。

イ 学校設定科目

基礎的な観察・実験、探求的学習活動等を展開し、科学の面白さを伝え、主体的にこれに関わっていく態度を養うための科目を設定する。

ウ 各教科・科目

理数分野だけに偏らない広い視野を持ち、バランスのとれた科学的教養を身に付けるため、国語、社会、英語等において関連付けた学習を行う。

エ 学校行事

- (ア) 文化祭で学習の成果の展示・発表を行う。
- (イ) 自然観察を取り入れた宿泊研修を実施する。
- (ウ) 海外の大自然や大学・研究施設を見学する海外研修を実施する。

オ 部活動

科学(理数)系部活動を創設する。

(2) 外部との連携

- ア 小・中学生に対するサイエンス教室を実施する。
- イ 市内の理数科設置校や静岡科学館との連携を図る。
- ウ 大学・研究機関・民間企業等から講師を招請し、最先端技術についての講義を受ける。
- エ 大学・研究機関等において、先端技術に関する科学実験を行う。
- オ 医学・薬学系に対応するための病院の施設見学や医師による講演を行う。
- カ 科学技術関係PTA・同窓会の協力者による講演を行う。

(3) その他

- ア コミュニケーション能力、表現力の育成
- イ プレゼンテーション能力及びコンピュータ・リテラシーの育成
- ウ 倫理観の育成

6 施設設備・備品等の充実

(1) 施設設備

実験・観察等を含む探究的な活動を行うための施設設備の整備

- ア 課題研究室(課題研究のグループワーク、少人数学習等への対応)
- イ 課題研究実験教室(課題研究時の実験・観察への対応)

(2) 備品・消耗品等

各教科、課題研究、科学部の活動において、実験・観察等を含む探究的な活動に必要な実験備品・自然科学関係雑誌等を含む消耗品を整備する。

7 教員の確保及び資質・能力の向上

- (1) 少人数指導、習熟度別授業、課題研究に対応するための人的措置
- (2) 理数科先進校、大学、先端企業、研究機関等への教員の視察研修

8 理数教育推進の運営体制について

- (1) 理数教育推進を組織的に進めるため、理数科運営委員会(仮称)を設置
- (2) 学術アドバイザーの委嘱
- (3) 生徒・保護者・教員等による理数科の運営に関する評価を定期的に行い、課題に対する改善策を講じる。

9 その他

普通科との関係、入学者選抜、計画の推進